

いであ

17年に売上173億

再生可能エネを積極受注



細田社長

いであは24日、今後3力年の数値目標を明らかにした。

2017年12月期連結は売上高173億円、営業利益率10%、当期純利益5%を目指す。売上高は、15年12月期が170億円、16年12月期が171億円、17年12月期が173億円を計画している。細田昌広

社長は「これを安定的に達成

することを目標としている」と話している。

13年12月期からスタートした3力年の中期経営ビジョンは売上高160億円、営業利益率6%、当期純利益3%を設定している。14年12月期は売上高165億7100万円、営業利益率11%、当期純利益9.6%となり、ビジョン最終年の数値目標を達成したこと、計画をローリングした。

重点事業分野の取り組み事例として、アセットマネジメント

ントは、昨年10月に導入したMMS（モービルマップピングシステム）調査技術を活用した道路施設の維持管理手法を開発した。

再生可能エネルギー導入推進への対応は、風力発電などの円滑な導入のため、適切な環境調査・アセスメントが必要となるとともに、海洋エネルギーなど新たなエネルギー

源についての研究開発や実証試験の業務が拡大されることから、「積極的な受注に努めたい」（細田社長）としている。

プロポーザルの特定率は、国土交通省発注業務の業務評定点の上昇や、表彰獲得業務数の増加が受注獲得に優位に働いたため、14年12月期は35.9%（10年度比12.3ポイント増）と向上した。

人材づくりに向けては、現在の富士研修所（山梨県）が手狭になってきたため、100人収容の研修室、50人の宿泊施設を持つ新富士研修所を近隣地にこし建設する。